

学習塾通いする中学生

目次

| | |
|--------------------------|----|
| 要約 | 2 |
| プロローグ 学習塾に対する信頼の高まりをめぐって | 4 |
| 第1章 生徒のプロフィール | 6 |
| 1. 中学生の塾通い | 6 |
| 2. サンプルの構成 | 7 |
| 第2章 学習塾へ通う生徒 | 12 |
| 1. 塾通いの実態 | 12 |
| 2. 塾での生活 | 17 |
| 3. 塾の効果 | 22 |
| 第3章 学習塾に行かない生徒たち | 26 |
| 1. 塾に行かない理由 | 26 |
| 2. 塾通いする子との差 | 29 |
| 第4章 学習塾と学校との対比 | 32 |
| 1. 授業の比較 | 32 |
| 2. 塾の先生と学校の先生 | 40 |
| 第5章 学校の役割と学習塾の役割 | 45 |
| 1. 塾と学校の機能 | 45 |
| 2. 学校と塾との違い | 52 |
| 第6章 まとめに代えて | 56 |
| 資料1 調査票見本 | 58 |
| 資料2 学年・性別集計表 | 72 |

*おことわり：本文中に使用した写真は、本文・テーマとはいっさい関係ありません。



学習塾通いする中学生

深谷昌志（静岡大学教授）

要約

① 通塾率

本サンプルの場合、塾通いをしている生徒は51.9%だった（p.13 表8）。そして通塾生のうち、34.1%が進学塾に通っていた（p.15 表12）。

② 塾選択の理由

「教え方がうまい」や「学力がつく」が上位を占め、「授業料が安い」「建物が立派」などの理由は下位にとどまった（p.17 表16）。

③ 塾のきまり

無断欠席にはきびしいが、服装や持ち物の規制はほとんど認められない（p.19 表17）。

④ 塾への満足感

「かなり」の29.6%を含めて、57.1%（「やや」を含めれば87.2%）が塾に満足している。しかし、学業成績の下位の生徒は塾に充足感を持ってない（p.20 表18）。

⑤ 塾通いで失ったもの

ゆっくりとテレビを見たり、夕食を食べる時間がなくなった（p.25 表22）。

⑥ 塾に行きたくない理由

「自由な時間を持ってないから」と「自分で勉強をしたい」などが上位を占める（p.28 表25）。

⑦ 今後の予定

塾に行っていない生徒48.1%のうち、59.0%（全体では28.4%）は、これからも塾に行かないと答えている（p.29 図4）。

⑧ 塾通いする子としない子

学業成績ではそれほどの開きは認められなかった。ただ、塾通いする生徒の方が将来に意欲を燃やしていた（p.31 表31）。

⑨ 塾の授業と学校の授業

学校の授業は教科書にそったものだが、塾の授業はわかりやすく学力がつきそう。だから、時間が過ぎるのが早い (p. 34 図5)。

⑩ 塾の先生と学校の先生

「幅の広い知識を持ち」「教え方がうまく」「尊敬できる」のが塾の先生で、学校の先生は「しつけがうるさい」だけだという (p. 41 図8)。

⑪ 学校と塾

突き詰めていうと、友だちをつくり人間形成をするのが学校で、受験を中心に学力を伸ばすのが学習塾である (p. 47 図10)。

〔まとめ〕

生徒たちは塾の授業は学校に比べ「わかりやすく力がつきそう」、そして塾の先生は学校の先生より「教え方がうまいだけでなく、知識も豊富で人間的に尊敬できる」と答えている。学習塾への評価は高いが、それに対し学校に対する生徒たちの信頼の薄さが気にかかる。

〔調査概要〕

対象●東京・山形・佐賀の中学1～3年生
1,621人

時期●1994年7月

方法●学校通しによる質問紙調査

サンプル構成 (人)

| | 男子 | 女子 | 計 |
|----|-----|-----|-------|
| 中1 | 295 | 240 | 535 |
| 中2 | 316 | 232 | 548 |
| 中3 | 281 | 257 | 538 |
| 計 | 892 | 729 | 1,621 |

学習塾に対する 信頼の高まりをめぐって

塾の先生は信頼できる

長年にわたって調査を重ねているので、予想外の結果がでてきて驚くということはそれほど多くはない。しかし、本号で紹介する内容は仮説を大きく覆すものであった。

生徒たちは学習塾の教師に対し、学校の教師より教え方がうまいだけでなく、知識も豊富なうえに、人間的にも尊敬できると評価している。調査を始める前から、塾の方が教え方が上手だろうとは予想していた。しかし、知識の量はむろんのこと、尊敬などは学校の教師に軍配が上がるものと信じていた。詳しい結果は本文を参照してほしいが、生徒は大差をつけて塾の教師の方が信頼できると答えている。

結果に驚いて、まわりにいる学生たちの感想を尋ねてみた。「中3の夏に成績が落ちたとき、塾の先生が真剣に心配して勉強の仕方を教えてくれた」「友だちが服装の問題で学校ともめていたとき、塾の先生が学校に着ていけない分だけ、塾には好きな格好で来なさいと励ましてくれた」「今でも、休みに故郷に戻ったときは、ぶらっと塾を訪ねている」「将来、結婚するとき、お祝いに来てもらいたい塾の先生がいる」など、学生の反応は塾の先生に極めて好意的だった。そして今回の調査結果を話すと十分に納得できるといふ。

これまで学習塾というと、多くの場合、進学のための学力をつけるところという感じで、

高く評価しても「第2の学校」どまりだった。ところが、生徒たちの評価は「第2」を支持して「(第1の)学校」を圧倒している。

個性的な教師たち

改めて、学習塾の意味を考えてみようと思った。昭和20年代の後半に、東京のS予備校に籍を置いたことがある。正直に言って、教師たちの授業の熱心さとうまさに驚いた。

数学の教師は、片手に5本のカラフルな白墨を持ち、重要事項にランクごと異なる色のアンダーラインを引く。具体的には赤のラインは全員が必ず覚える基礎的な事項だが、黄色は難関大学の文系志願者にとっては重要、そして、緑は東大などの理工系を志願する者以外は不要などのように区分されている。しかも、色ごとに声の質を変えてラインを引くというていねいさだった。

英語の教師は、授業を始めて5分間は英語で雑談をするのが常だった。今になって思うと、英文和訳的な英語教育に対する批判から、話せる力をつけようと英会話をしていたのであろう。それと『ニューズウィーク』や『タイム』を持ってきて、聞き取りの力を伸ばそうとしていた。いつも派手な替え上着を着て、パイプを持ち、何とも変な先生という感じだったが、妙な魅力があり、それに引かれて授業を楽しみにしていた。

国語の先生は『方丈記』の解釈に2か月以上を費やし、僧侶や武士の生活を説明したり

食事の質素さを話したりした。そして何かあると、「これは受験には関係ないが、文学的にみると、この部分が面白い。それがわかる人は国文科にいらっしゅい」というのが常であった。

40年以上前の話だが、予備校の生活を思い起こしてみると、一人一人の教師の姿がはっきりと浮かんできてくる。体を張って授業をしているという気迫に圧倒され、眠ったり、退屈している暇などなかった。それに引き換え、高校の先生は何人かを除くと、どんな授業をしてくれたのかを思い出せないのに気づいた。

それから20年以上経ち、今度は子どもが塾に通う年齢になった。中3の冬、子どもが体調を崩して高校受験が危なくなった。塾を欠席すると、塾から様態を尋ねる電話があり、その後、ていねいなコメントをつけて教材が送られてきた。欠席が長引くと、塾の教師が訪ねてきて、家庭で個人授業をしてくれた。

高校進学に不安を感じていたので、塾の対応と親切さは、地獄で仏に会う思いがした。その間、こちらが担任に欠席の連絡をしたのと、友だちが見舞いに来たのを除くと、学校からのコンタクトはほとんどなかった。

学校は何百人の生徒を抱えているので、一人一人の生徒にきめ細かく対応できないといわれることが多い。しかし、何百人の生徒がいるという意味では学習塾も変わりはない。それにもかかわらず、学習塾はどうして個別の対応が可能だったのだろうか。

また、学習塾は生徒の月謝で経営しているので、生徒や親に敏感に反応するのが当然だが、学校はそうはいかないという言い方もある。そうした学校サイドの理由づけはともあれ、親としては学習塾に対する信頼感を増すと同時に、それと対照的に、学校に不信感を抱くことになる。

学校は先進地区だった

官尊民卑という言葉がある。学校と学習塾との関係は、学校の官に対して学習塾は民の感じになる。

歴史的に考えると、日本の近代学校は西欧化を推進するセンターであった。寺子屋や藩学で土着の文化を伝達したのに対し、近代の学校では土着を切り捨てる形で西欧の文化を紹介した。特に、各県に設置された(旧制)中学は県レベルの西欧化の中心であったし、小学校はそれぞれの地域へ西欧をもたらす窓口であった。いわば、学校は当時の社会の先進地区だった。そして、そうした学校に通って、西欧をいち早く身につけた人が明治以降の社会で活躍していった。残念ながら、土着の文化は古く、利用する価値のないものになってしまったのだ。

本来の私塾は、藩学に象徴される公教育に対抗して在野の思想を広める反体制的な機関だった。しかし、近代化の過程の中で、各地に点在していた多くの私塾は、公教育に準拠する形で変身していったといわれる。そして公教育への脱皮に失敗した私塾は、教育の世界から姿を消すことになる。

その結果、明治の教育を調べると、在野的な私塾が衰退する一方で、旧制中学受験のための私塾がかなり早くから登場している。また、東京を中心に旧制高校受験の予備校も発達している。したがって、歴史的に明治以降、日本の私塾は公立学校に入学する生徒の準備機関としての性格を増していった。

長い間、学習塾が学校を補完する機関としての評価にとどまり、(すでにふれたように)学校として「第2」扱いられていたのは、上述した歴史的な背景をふまえてのものなのであろう。しかし、今回の調査結果によると、学習塾は学校より、生徒たちの心をとらえている。これは学習塾が奮起して信頼を勝ち取っていったためなのか、それとも学校が、地盤沈下した結果なのか。おそらく両側面が重なり合っている現象であろうが、学習塾の評価が高まったのはよい。とはいえ、学習塾の調査をしているはずなのに、学校に対する信頼感の低下が何とも気になったというのが、今回の調査についての率直な感想である。

第1章 生徒のプロフィール



1. 中学生の塾通い

塾通いをする子どもたちの姿に違和感を抱かなくなった。小学生の塾通いに批判的な人でも、高校受験を控えているので、中学生の塾通いは仕方がないように思うだろう。

改めて、文部省の塾通い調査の結果を思い起こしてみよう。

| | 昭和51年 | 昭和60年 | 平成5年 |
|----|-------|-------|-------|
| 中1 | 37.9% | 41.8% | 52.5% |
| 中2 | 38.7% | 44.5% | 59.1% |
| 中3 | 37.4% | 47.3% | 67.1% |
| 中学 | 38.0% | 44.5% | 59.5% |

全国規模の調査で、中学生の6割が通塾しているという。しかも、この20年の間に塾通

いする中学生は2割以上も増加している。そして、中3に限るなら3分の2以上が塾に通っている。

都市に限らず、山村を含めて、中学3年生の67.1%が塾に通い、通塾していないのは32.9%にすぎない。学校で勉強しているはずなのに、どうして塾に通わねばならないのか。

ここまで塾通いが普遍化してくると、学習塾は教育機関として社会的な市民権を獲得したと思わざるをえない。そこで、この号では学習塾が生徒にとってどういう意味を持っているのかを考えていきたいと思う。

2. サンプルの構成

1) 学業成績の分布

今回は学習塾についての調査なので、学校の協力を得るのはむずかしいと予想していた。予想通り、実際に調査は難航をきわめた。生徒たちがこれだけ塾に通っているのであるか

ら、実状を知っておいた方がよいと思うのだが、それは第三者の考え方らしい。特に学校と学習塾とを比較する項目について拒否反応を示す学校が少なくなかった。そうした中で、調査に協力してくれたのは1,621名であり、サンプル構成は表1のようになる。

表1 サンプルの構成

(%)

| | 男子 | 女子 | 計 |
|-----|------|------|-------|
| 中 1 | 18.2 | 14.8 | 33.0 |
| 中 2 | 19.5 | 14.3 | 33.8 |
| 中 3 | 17.3 | 15.9 | 33.2 |
| 計 | 55.0 | 45.0 | 100.0 |

本号は学習塾がテーマなので、生徒たちの学業成績のプロフィールを示すと表2の通りである。この結果によると、通塾している者の中で「中の上」以上が41.9%に達するのに、通塾していない者だと33.0%と、通塾している生徒の方がやや成績のよいのが目につく。

また、勉強の好きさは表3に示すように「あまり」を含めて、「勉強を好きでない」と

答えた者が78.5%に及んでいる。勉強はしたくないという回答に無理もないと思う反面、本来の勉強は楽しいはずのものだけに、もう少し、勉強を面白くできないものかと思う。

もっとも、勉強は好きでないというものの、学校へ行くのは嫌いでないようで、表4の通りに「かなり」の46.6%を含めると、71.2%が学校は楽しいと答えている。

表2 学業成績 × 属性

| | | (%) | | | | |
|--------|-----|------|------|------|------|------|
| | | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 全 体 | | 9.3 | 25.1 | 29.2 | 22.3 | 14.1 |
| 学 年 | 中 1 | 8.9 | 21.3 | 32.3 | 23.4 | 14.1 |
| | 中 2 | 8.0 | 27.1 | 28.7 | 21.8 | 14.4 |
| | 中 3 | 11.2 | 26.9 | 26.3 | 21.9 | 13.7 |
| 性 別 | 男 子 | 11.2 | 26.7 | 25.7 | 21.2 | 15.2 |
| | 女 子 | 7.1 | 23.3 | 33.2 | 23.7 | 12.7 |
| 通 塾 | な し | 9.8 | 23.2 | 29.7 | 22.7 | 14.6 |
| | 通 塾 | 11.2 | 30.7 | 32.5 | 17.4 | 8.2 |

表3 勉強が好きか × 属性

| | | (%) | | | |
|--------|-----|------|------|-------|------|
| | | 好 き | | 好きでない | |
| | | とても | かなり | あまり | まったく |
| 全 体 | | 3.6 | 17.9 | 56.2 | 22.3 |
| 学 年 | 中 1 | 5.0 | 21.9 | 56.6 | 16.5 |
| | 中 2 | 2.6 | 14.0 | 56.8 | 26.6 |
| | 中 3 | 3.4 | 17.7 | 55.7 | 23.2 |
| 性 別 | 男 子 | 4.5 | 18.2 | 52.8 | 24.5 |
| | 女 子 | 2.7 | 17.5 | 60.3 | 19.5 |
| 成 績 | 上 | 15.8 | 34.2 | 37.7 | 12.3 |
| | 中の上 | 3.8 | 28.2 | 51.3 | 16.7 |
| | 中 | 2.0 | 17.5 | 62.4 | 18.1 |
| | 中の下 | 0.9 | 8.1 | 68.5 | 22.5 |
| | 下 | 3.2 | 5.1 | 45.2 | 46.5 |
| 通 塾 | な し | 2.0 | 19.7 | 58.3 | 20.0 |
| | 通 塾 | 5.0 | 18.2 | 55.1 | 21.7 |

表4 学校の楽しさ

| | | (%) | | | |
|-----|--|------|------|-------|------|
| | | 楽しい | | 楽しくない | |
| | | とても | かなり | あまり | まったく |
| 中 1 | | 32.3 | 48.0 | 18.0 | 1.7 |
| 中 2 | | 22.3 | 44.5 | 25.8 | 7.4 |
| 中 3 | | 19.2 | 47.4 | 28.0 | 5.4 |
| 全 体 | | 24.6 | 46.6 | 23.9 | 4.9 |

2) 好きな教科

学校へ行くと、友だちがいる。だから、勉強は苦手でも学校へ行くのは楽しいのであろうか。好きな教科名を表5に示した。好きなのが体育や美術、そして好きといえないのは国語や理科という結果である。

話はやや脱線するが、好きな教科の属性別の数値に目を通すと、体育や音楽は学年が上がっても「好きでない」割合はそれほど変わらない。しかし、数学や英語は学年が上がるにつれて「好き」の割合が減少していく。

| | 中1 | 中3 | 中3/中1 |
|----|-------|-------|-------|
| 体育 | 58.7% | 49.2% | 83.8% |
| 音楽 | 42.1% | 39.6% | 94.1% |
| 数学 | 39.1% | 24.4% | 62.4% |
| 英語 | 51.6% | 29.6% | 57.4% |

そうした傾向は学業成績についても認められ、体育や音楽は成績が下位の生徒も上位の生徒と同じように楽しめるのに、数学や英語は成績が下位になるにつれて、「好き」の割合が減少している。

| | 上位 | 下位 | 下位/上位 |
|----|-------|-------|--------|
| 体育 | 51.4% | 60.6% | 117.9% |
| 音楽 | 31.5% | 31.7% | 100.6% |
| 数学 | 43.8% | 26.7% | 61.0% |
| 英語 | 50.7% | 22.2% | 43.8% |

したがって、生徒たちが勉強が嫌いというのは英語や数学がわからないからなのであろう。

なお、高校進学への見通しは表6に示したように、むずかしい高校を目指す生徒とやさしい高校に入ろうという生徒とに二分されている印象を受ける。そして学習塾に関連して言えば、塾通いしている生徒の半数がむずか

表5 好きな教科 × 属性

(%)

| | | 体育 | 社会 | 美術 | 英語 | 音楽 | 数学 | 技術・家庭 | 理科 | 国語 |
|-----|-----|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|
| 全 体 | | 54.9 | 41.2 | 37.5 | 36.7 | 35.6 | 30.3 | 30.0 | 29.5 | 22.4 |
| 性 別 | 男 子 | 63.5 | 49.4 | 32.3 | 35.0 | 23.6 | 37.8 | 34.4 | 38.2 | 18.5 |
| | 女 子 | 44.4 | 31.3 | 43.9 | 38.8 | 50.3 | 21.1 | 24.7 | 18.9 | 27.0 |
| 学 年 | 中 1 | 58.7 | 45.6 | 41.1 | 51.6 | 42.1 | 39.1 | 40.2 | 32.5 | 21.3 |
| | 中 2 | 56.8 | 45.4 | 42.6 | 29.0 | 25.5 | 27.3 | 23.9 | 29.5 | 21.3 |
| | 中 3 | 49.2 | 32.7 | 28.8 | 29.6 | 39.6 | 24.4 | 26.1 | 26.6 | 24.6 |
| 成 績 | 上 | 51.4 | 53.4 | 41.1 | 50.7 | 31.5 | 43.8 | 34.9 | 45.9 | 21.9 |
| | 中の上 | 53.6 | 44.7 | 32.0 | 45.2 | 32.0 | 36.0 | 25.6 | 33.5 | 26.9 |
| | 中 | 51.5 | 39.7 | 32.2 | 40.6 | 38.4 | 32.2 | 25.0 | 26.5 | 18.6 |
| | 中の下 | 60.6 | 39.7 | 19.7 | 27.1 | 40.3 | 19.7 | 34.9 | 27.1 | 23.1 |
| | 下 | 60.6 | 33.9 | 26.7 | 22.2 | 31.7 | 26.7 | 38.9 | 23.5 | 21.3 |

複数回答

しい高校を目指している計算になる。

難関 + かなり = 小計

通塾生徒の中で $10.6\% + 38.1\% = 48.7\%$

塾通いしていない $4.5\% + 29.0\% = 33.5\%$

そして、学習塾以外の家庭教育の利用は表7の通りである。

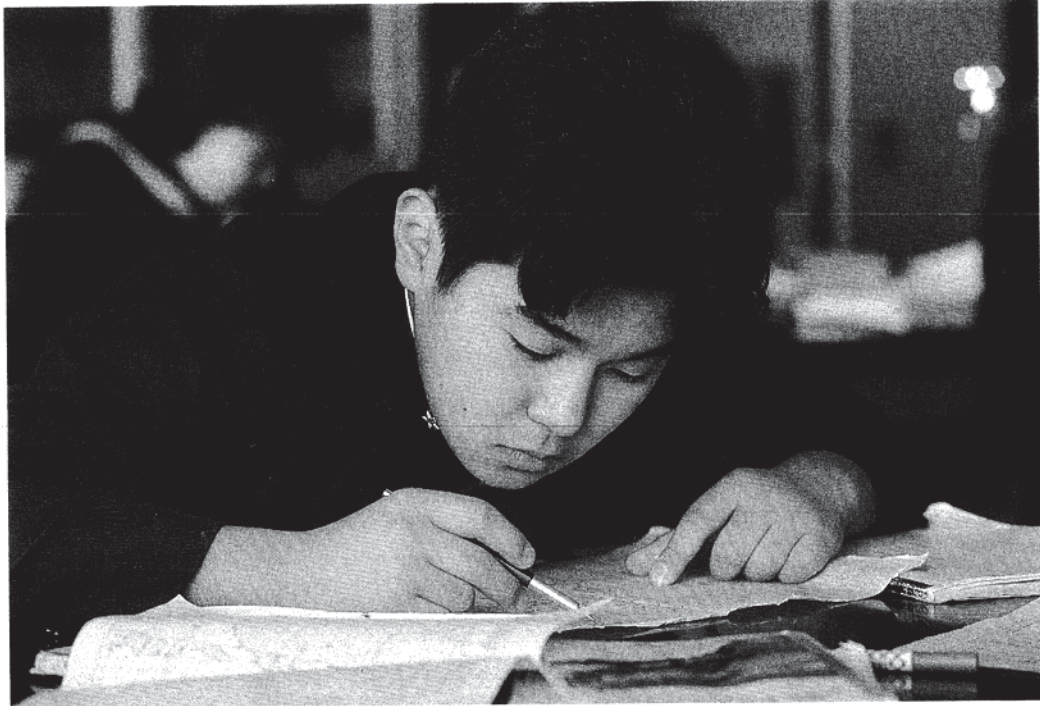
表6 高校進学 × 属性

| | | 難関 | | | | | その他 | (%) |
|----|-----|------|------|------|------|------|------|-----|
| | | 難関 | かなり | わりと | やさしい | とても | どこでも | |
| 全体 | | 8.7 | 34.8 | 31.3 | 5.7 | 6.7 | 12.8 | |
| 学年 | 中1 | 12.1 | 35.2 | 29.9 | 5.0 | 6.0 | 11.8 | |
| | 中2 | 5.9 | 34.4 | 30.6 | 6.8 | 8.3 | 14.0 | |
| | 中3 | 8.2 | 34.5 | 33.5 | 5.4 | 5.9 | 12.5 | |
| 性別 | 男子 | 11.5 | 34.8 | 28.4 | 4.6 | 8.0 | 12.7 | |
| | 女子 | 5.3 | 34.7 | 35.1 | 7.2 | 5.2 | 12.5 | |
| 成績 | 上 | 29.9 | 42.3 | 13.9 | 1.4 | 2.1 | 10.4 | |
| | 中の上 | 10.3 | 51.0 | 20.8 | 1.0 | 3.8 | 13.1 | |
| | 中 | 5.6 | 38.4 | 35.9 | 2.0 | 5.4 | 12.7 | |
| | 中の下 | 3.6 | 20.1 | 49.0 | 8.6 | 7.2 | 11.5 | |
| | 下 | 6.0 | 17.5 | 26.7 | 20.7 | 15.7 | 13.4 | |
| 通塾 | なし | 4.5 | 29.0 | 35.9 | 8.1 | 6.8 | 15.7 | |
| | 通塾 | 10.6 | 38.1 | 29.0 | 4.2 | 6.4 | 11.7 | |

表7 家庭学習 × 属性

| | 全体 | 学年 | | | 成績 | | | | | (%) |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| | | 中1 | 中2 | 中3 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 | |
| 家庭教師 | 8.3 | 4.4 | 8.1 | 12.2 | 10.1 | 6.8 | 6.8 | 9.4 | 10.0 | |
| 通信教育 | 30.1 | 34.8 | 28.1 | 27.5 | 30.7 | 36.3 | 31.1 | 26.2 | 21.6 | |

第2章 学習塾へ通う生徒



1. 塾通いの実態

本サンプルの学習塾通いの姿は表8に詳しい。通塾率が51.9%であるから、文部省調査の数値をやや下回っており、少なくともこのサンプルが特別に教育熱心な地域でないのは明らかであろう。

そして、塾に通う日数は表9に示すように平均して週3日が4割を上回る。なお学年と

通塾日数との関係をまとめると、以下のように、学年が上がるにつれて、塾通いの日数が増加している

〈週3日以上塾に通う〉

| 中1 | 中2 | 中3 |
|-------|-------|-------|
| 53.4% | 60.2% | 73.4% |

表8 塾通い × 属性

| | 全 体 | 学 年 | | | 性 別 | | 成 績 | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 男 子 | 女 子 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 行かない | 25.9 | 26.7 | 27.5 | 23.5 | 23.9 | 28.4 | 27.1 | 24.0 | 26.5 | 26.5 | 27.5 |
| やめた | 20.2 | 24.0 | 18.6 | 18.4 | 19.8 | 20.5 | 13.9 | 12.2 | 18.3 | 26.2 | 32.8 |
| 夏だけ | 2.0 | 1.0 | 1.7 | 3.4 | 1.7 | 2.4 | 0.0 | 2.9 | 0.9 | 2.9 | 2.8 |
| 最近 | 13.2 | 13.0 | 10.9 | 15.3 | 14.6 | 11.2 | 13.2 | 14.1 | 11.1 | 14.4 | 14.2 |
| 昔から | 38.7 | 35.3 | 41.3 | 39.4 | 40.0 | 37.5 | 45.8 | 46.8 | 43.2 | 30.0 | 22.7 |
| 通塾小計 | 51.9 | 48.3 | 52.2 | 54.7 | 54.6 | 48.7 | 59.0 | 60.9 | 54.3 | 44.4 | 36.9 |

表9 通塾の日数（週に） × 属性

| | 全 体 | 学 年 | | | 性 別 | | 成 績 | | | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 男 子 | 女 子 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 1 日 | 8.5 | 15.0 | 7.2 | 4.0 | 7.2 | 10.1 | 3.4 | 9.9 | 8.7 | 8.3 | 6.7 |
| 2 日 | 28.9 | 31.6 | 32.6 | 22.6 | 28.2 | 29.9 | 32.2 | 26.3 | 26.9 | 34.6 | 29.2 |
| 3 日 | 44.3 | 41.3 | 46.8 | 44.5 | 46.1 | 41.9 | 43.7 | 45.3 | 43.1 | 41.8 | 50.7 |
| 4 日 | 13.1 | 9.8 | 10.0 | 19.3 | 13.4 | 12.8 | 11.5 | 14.8 | 14.6 | 11.5 | 9.0 |
| 5 日 | 3.6 | 2.3 | 1.7 | 6.6 | 3.1 | 4.3 | 4.6 | 2.5 | 5.5 | 3.2 | 1.1 |
| 6 日以上 | 1.6 | 0.0 | 1.7 | 3.0 | 2.0 | 1.0 | 4.6 | 1.2 | 1.2 | 0.6 | 3.3 |

また、表10の塾に通う時間によれば、生徒たちは平均して6時すぎに塾に出かけ、9時すぎに帰宅する生活を送っている。週に3日はそういう日が続くのであるから、中学生たちの生活リズムが崩れるのが心配になる。

生徒たちは塾に通って、英語や数学、国語などを習っているが(表11)、塾の性格は進学塾が34.1%、補習塾が17.7%、残りの48.2

%は進学と補習との混合塾だという(表12)。

そして、塾の教師1人あたりの生徒数は表13によれば、10人以下が53.0%と過半数に達する。学校と比べ、学習塾はクラスサイズが小さく、きめ細やかな指導が可能なのかもしれない。なお、塾の月謝には幅があり、1万円未満の塾から3万円以上までに分布している(表14)。

表10 塾通いの時間

(%)

| 行く時刻 | | 帰宅時刻 | |
|------|------|-------|------|
| 5時前 | 5.6 | 7時前 | 3.6 |
| 5時台 | 15.9 | 7時台 | 8.5 |
| 6時台 | 35.7 | 8時台 | 13.0 |
| 7時台 | 32.9 | 9時台 | 43.6 |
| 8時以降 | 9.9 | 10時台 | 27.4 |
| | | 11時以降 | 3.9 |

表11 塾の教科

(%)

| | 全体 | 中1 | 中2 | 中3 |
|-----|------|------|------|------|
| 国語 | 33.1 | 29.2 | 34.2 | 35.5 |
| 数学 | 45.5 | 38.3 | 47.2 | 50.6 |
| 英語 | 51.8 | 47.7 | 52.6 | 54.7 |
| 社会 | 15.9 | 9.5 | 17.1 | 20.9 |
| 理科 | 16.5 | 10.1 | 16.9 | 22.4 |
| その他 | 1.3 | 2.1 | 0.4 | 1.5 |

表12 塾の性格 × 属性

| | 全 体 | 学 年 | | | 性 別 | | 成 績 | | | | |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 男 子 | 女 子 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 進学塾 | 34.1 | 34.3 | 30.8 | 37.5 | 38.8 | 28.0 | 53.5 | 38.1 | 29.3 | 24.4 | 34.5 |
| 補習塾 | 17.7 | 21.1 | 20.6 | 12.0 | 16.8 | 18.8 | 15.5 | 16.1 | 16.1 | 24.4 | 20.2 |
| 進学と補習との混合塾 | 48.2 | 44.6 | 48.6 | 50.5 | 44.4 | 53.2 | 31.0 | 45.8 | 54.6 | 51.2 | 45.3 |

(%)

表13 教師1人あたりの生徒数

| | 全 体 | 中 1 | 中 2 | 中 3 |
|--------|------|------|------|------|
| 5人以下 | 23.9 | 24.2 | 19.4 | 27.6 |
| 6～10人 | 29.1 | 29.5 | 32.6 | 25.6 |
| 11～15人 | 15.6 | 21.7 | 16.1 | 10.2 |
| 16～20人 | 13.7 | 8.6 | 16.1 | 15.4 |
| 21人以上 | 17.7 | 16.0 | 15.8 | 21.2 |

(%)

表14 塾の月謝

| | 全 体 | 中 1 | 中 2 | 中 3 |
|------------|------|------|------|------|
| 1万円未満 | 20.9 | 26.0 | 25.6 | 12.1 |
| 1万～1万5千円未満 | 15.8 | 18.3 | 18.1 | 11.7 |
| 1万5千～2万円未満 | 11.5 | 7.7 | 11.6 | 14.6 |
| 2万～3万円未満 | 28.5 | 32.6 | 26.6 | 26.7 |
| 3万円以上 | 23.3 | 15.4 | 18.1 | 34.9 |

(%)

学習塾に通い始めた学年を表15に示した。
通塾の学年を積算してみると、以下のよう
なる。

| | 積算 | 生徒全体の中で |
|-----|---------------|---------|
| 小 3 | 7.3% (15.8%) | 8.2% |
| 小 4 | 17.4% (33.2%) | 17.2% |
| 小 5 | 17.2% (50.4%) | 26.2% |

小 6 17.1% (67.5%) 35.0%
中 1 22.5% (90.0%) 46.7%

改めてふれるまでもなく、生徒たちはす
でに小学4年生の頃から塾通いをしており、中
学3年生の中には6年間も塾通いをしてい
る生徒もいる計算になる。

表15 通塾開始の時期 × 属性

(%)

| | 全 体 | 性 別 | | 成 績 | | | | |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 男 子 | 女 子 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 小 1 | 5.4 | 5.3 | 6.1 | 6.0 | 6.7 | 2.5 | 7.1 | 7.6 |
| 小 2 | 3.1 | 3.4 | 2.8 | 2.4 | 2.9 | 3.3 | 3.9 | 2.5 |
| 小 3 | 7.3 | 9.0 | 5.2 | 9.6 | 7.1 | 7.0 | 5.8 | 10.1 |
| 小 4 | 17.4 | 17.9 | 16.9 | 14.5 | 16.3 | 17.2 | 20.1 | 15.2 |
| 小 5 | 17.2 | 18.8 | 15.2 | 20.5 | 18.4 | 18.9 | 14.9 | 15.2 |
| 小 6 | 17.1 | 17.1 | 16.9 | 18.1 | 17.2 | 18.4 | 14.3 | 17.7 |
| 中 1 | 22.5 | 21.1 | 23.4 | 19.3 | 20.1 | 22.4 | 24.2 | 25.3 |
| 中 2 | 6.9 | 4.9 | 9.4 | 4.8 | 6.7 | 7.8 | 7.1 | 5.1 |
| 中 3 | 3.1 | 2.5 | 4.1 | 4.8 | 4.6 | 2.5 | 2.6 | 1.3 |

2. 塾での生活

地域に学習塾は多い。その中から、なぜ今の塾を選択したのか。表16によると、「教え方がうまい」や「学力がつく」など学習塾本

来の目的にそった選択をしており、「授業料が安い」や「建物が立派」は選択理由の下位にとどまっている。

表16 塾選択の理由 × 属性

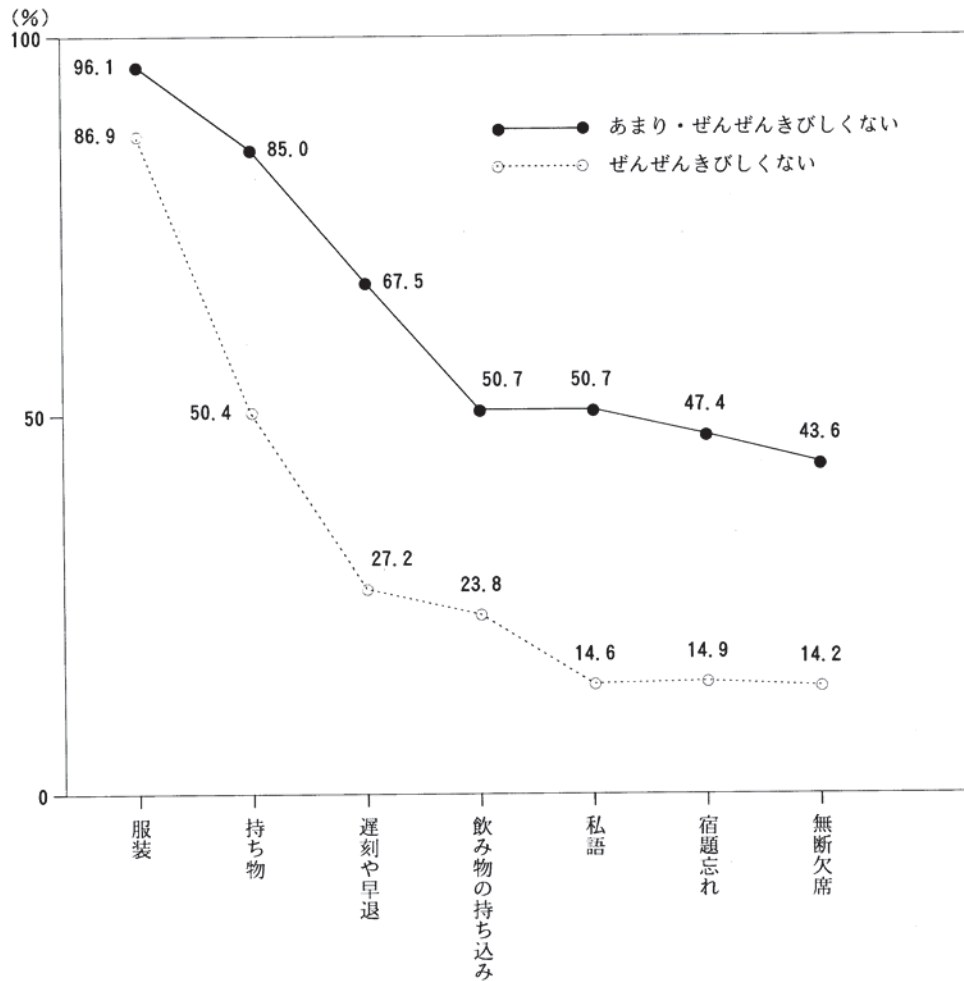
| | (%) | | | | | | | | | |
|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| | 全 体 | 学 年 | | | 成 績 | | | | | |
| | | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 | |
| 教え方がうまい | 33.0 | 30.5 | 35.5 | 32.7 | 44.5 | 38.3 | 34.2 | 28.6 | 19.9 | |
| 学力がつく | 32.0 | 32.5 | 33.3 | 29.8 | 49.3 | 40.4 | 33.3 | 22.6 | 17.6 | |
| 進学の学力がつく | 29.5 | 26.5 | 28.2 | 33.3 | 41.1 | 34.0 | 30.7 | 21.7 | 18.6 | |
| テスト対策 | 27.3 | 27.9 | 28.2 | 25.5 | 28.1 | 33.8 | 30.5 | 23.4 | 16.3 | |
| 授業に合う | 25.9 | 22.2 | 28.2 | 27.2 | 26.7 | 23.4 | 29.6 | 28.6 | 17.2 | |
| 先生が熱心 | 24.9 | 23.7 | 24.4 | 26.2 | 35.6 | 30.2 | 26.5 | 19.7 | 14.5 | |
| 家から近い | 21.0 | 19.6 | 22.2 | 21.1 | 27.4 | 24.4 | 22.1 | 17.4 | 14.5 | |
| 親友が行っている | 20.7 | 21.7 | 20.4 | 20.0 | 21.9 | 23.6 | 23.9 | 15.4 | 18.1 | |
| 有名校進学者が多い | 13.3 | 13.1 | 12.6 | 14.0 | 28.8 | 18.0 | 12.1 | 7.1 | 7.2 | |
| 交通の便がよい | 11.6 | 8.8 | 13.5 | 12.2 | 16.4 | 12.2 | 14.9 | 8.3 | 4.3 | |
| 評判がよい | 10.9 | 9.5 | 13.5 | 9.6 | 24.0 | 12.9 | 11.2 | 5.4 | 7.2 | |
| 授業料が安い | 7.7 | 6.5 | 8.2 | 8.3 | 12.3 | 8.4 | 8.6 | 5.4 | 5.0 | |
| 兄弟が行っている | 5.5 | 7.1 | 6.2 | 3.3 | 7.5 | 5.3 | 7.2 | 4.9 | 2.3 | |
| 建物が立派 | 2.9 | 3.2 | 2.4 | 3.1 | 8.2 | 2.5 | 3.3 | 2.0 | 1.4 | |
| その他 | 6.4 | 8.0 | 4.6 | 6.8 | 6.8 | 8.4 | 5.0 | 5.4 | 6.8 | |

複数回答

生徒たちは学習塾でどのような生活を送っているのか。その一端を図1（表17）の形で尋ねてみた。さすがに「無断欠席」は「かなり」を含めると、56.4%がきびしい。しかし

服装や持ち物に注文を出す塾はほとんど認められない。生徒たちが他の子の勉強の妨げにならずに、自分の勉強をしてくれればどんな格好をしていてもかまわないというのが塾の

図1 塾のきまり



雰囲気なのであろう。

多くの中学が校則を厳格に運用しているのは周知の通りだが、生徒からすると、ラフな

服装で、好きな持ち物を持って出かけられる学習塾に親しみを感じるのではないだろうか。

表17 塾のきまり

| | きびしい | | きびしくない | | (%) |
|----------|------|------|--------|------|-----|
| | とても | かなり | あまり | ぜんぜん | |
| 服装 | 1.7 | 2.2 | 9.2 | 86.9 | |
| 持ち物 | 5.6 | 9.4 | 34.6 | 50.4 | |
| 遅刻や早退 | 9.8 | 22.7 | 40.3 | 27.2 | |
| 私語 | 18.5 | 30.8 | 36.1 | 14.6 | |
| 宿題忘れ | 24.6 | 28.0 | 32.5 | 14.9 | |
| 飲み物の持ち込み | 26.9 | 22.4 | 26.9 | 23.8 | |
| 無断欠席 | 32.0 | 24.4 | 29.4 | 14.2 | |

そうした伸びやかな雰囲気が反映したのか、学習塾への満足度は、表18に示したように、「とても」の27.5%に「かなり」の29.6%を含めて57.1%と半数を上回っている。

しかし、学業成績別に学習塾への満足度を確かめると、図2が示すように、成績のよい子は塾に満足しているが、成績が下位になるにつれて満足感が低下していく。

表18 塾への満足度 × 属性

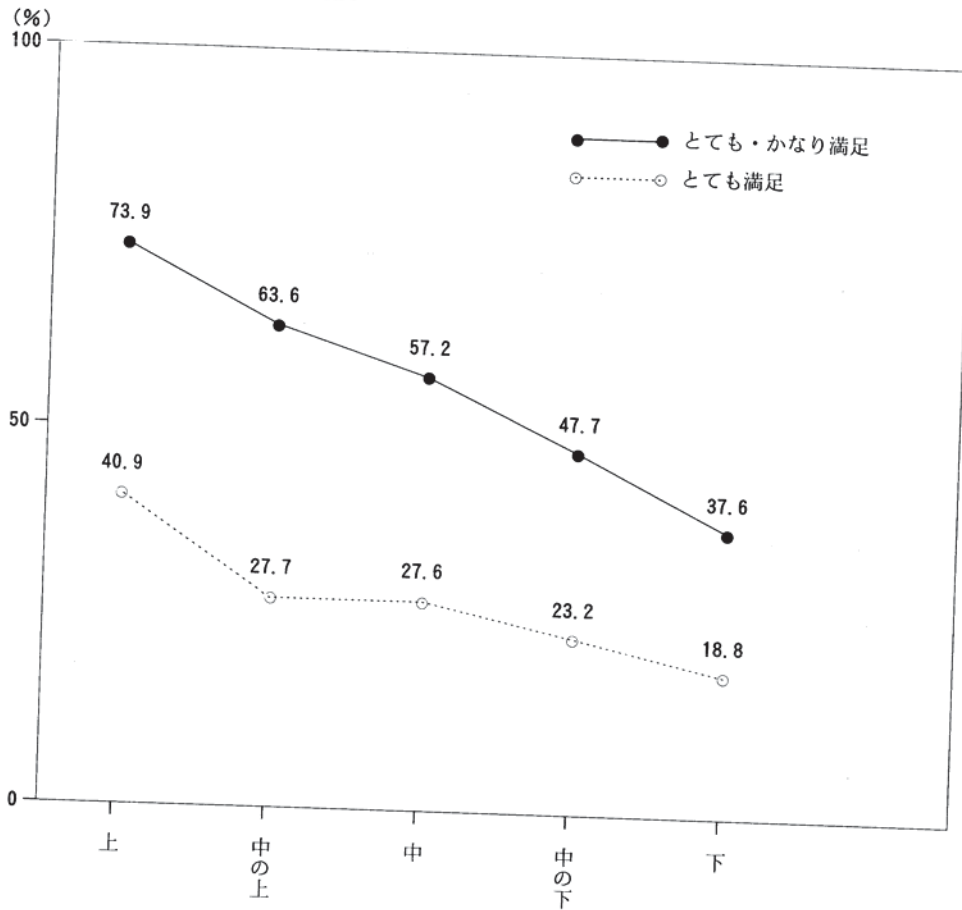
(%)

| | | 満 足 | | | 不 満 | |
|-----|-----|------|------|------|------|-----|
| | | とても | かなり | やや | やや | とても |
| 全 体 | | 27.5 | 29.6 | 30.1 | 7.5 | 5.3 |
| 学 年 | 中 1 | 32.2 | 27.2 | 30.3 | 6.1 | 4.2 |
| | 中 2 | 30.0 | 27.5 | 28.2 | 7.3 | 7.0 |
| | 中 3 | 20.7 | 34.2 | 31.4 | 9.0 | 4.7 |
| 成 績 | 上 | 40.9 | 33.0 | 18.2 | 4.5 | 3.4 |
| | 中の上 | 27.7 | 35.9 | 25.6 | 5.8 | 5.0 |
| | 中 | 27.6 | 29.6 | 32.8 | 6.4 | 3.6 |
| | 中の下 | 23.2 | 24.5 | 36.2 | 9.0 | 7.1 |
| | 下 | 18.8 | 18.8 | 36.6 | 17.6 | 8.2 |

学習塾は勉強をするところだから、勉強が
苦手だと塾に満足感を持ってないのであろう。
学校でも成績がふるわないと充足感を持ってな
い。そうした生徒が学習塾に行き、また、満

たされない気持ちになる。それでは生徒がど
こに気持ちのはけ口を見いだすのであろうか。
気がかりである。

図2 塾への満足度 × 成績



3. 塾の効果

学習塾に通ったことを生徒たちはどう評価しているのだろうか。表19によれば、「勉

強法がわかった」や「成績が上がった」などが上位を占める。特に属性別の分析では、

表19 塾の効果

(%)

| | あった | | なかった | |
|-----------------|------|------|------|------|
| | とても | かなり | あまり | ぜんぜん |
| 勉強法がわかった | 27.3 | 47.0 | 21.7 | 4.0 |
| 友だちが増えた | 24.8 | 32.1 | 28.4 | 14.7 |
| 成績が上がった | 24.0 | 41.6 | 29.4 | 5.0 |
| やる気がでた | 22.0 | 43.6 | 28.9 | 5.5 |
| 自信ができた | 17.8 | 35.4 | 38.7 | 8.1 |
| 苦手科目を克服できた | 15.3 | 35.7 | 38.5 | 10.5 |
| 時間をうまく使えるようになった | 11.9 | 27.1 | 48.9 | 12.1 |

表20 塾の効果 × 属性

(%)

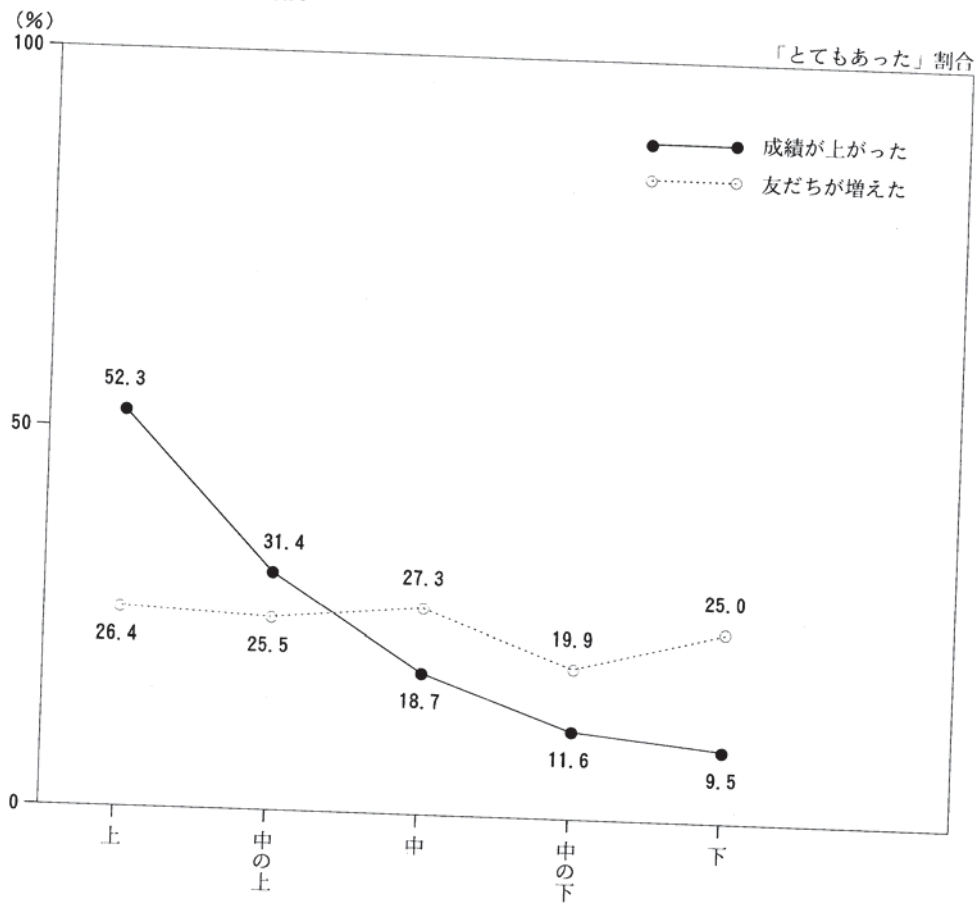
| | 学 年 | | | 成 績 | | | | |
|-----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 勉強法がわかった | 32.2 | 28.2 | 22.3 | 47.1 | 27.5 | 26.0 | 22.6 | 20.0 |
| 友だちが増えた | 29.5 | 27.1 | 18.9 | 26.4 | 25.5 | 27.3 | 19.9 | 25.0 |
| 成績が上がった | 26.5 | 26.4 | 19.3 | 52.3 | 31.4 | 18.7 | 11.6 | 9.5 |
| やる気がでた | 27.0 | 19.2 | 20.2 | 34.5 | 24.6 | 20.5 | 14.6 | 16.5 |
| 自信ができた | 22.0 | 17.0 | 14.8 | 38.6 | 18.2 | 16.9 | 7.0 | 14.1 |
| 苦手科目を克服できた | 22.3 | 14.1 | 10.4 | 26.7 | 15.4 | 13.3 | 9.5 | 14.1 |
| 時間をうまく使えるようになった | 15.3 | 11.5 | 9.1 | 18.4 | 12.2 | 13.7 | 6.5 | 10.8 |

「とてもあった」割合

「友だちが増えた」は属性による変わりがないが、「成績が上がった」と答えているのは成績の上位の生徒に限られている（表20）。

そうした傾向を図3に示してみた。成績が下位になると、成績は上がらないが、友だちがいるから塾に行くのであろうか。

図3 塾の効果 × 成績



これまでふれてきたことから推察できるよ
うに、学習塾は学力をつける場なので、塾の
「好きなところ」についても、表21のように
「教え方がうまい」「ていねいに教えてくれる」
「学習の効率がよい」などと学習指導に

関する項目が集中している。そして「友だち
と遊べるから」は最下位にとどまっている。

それでは、塾通いによって生徒たちは何を
失ったのか。表22によれば、「ゆっくりテレビ
を見られなくなった」「ゆっくり夕食を食

表21 塾の好きなところ × 属性

(%)

| | 全 体 | 学 年 | | | 成 績 | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 教え方がうまい | 33.8 | 30.8 | 35.5 | 34.9 | 44.5 | 38.3 | 34.2 | 28.6 | 19.9 |
| ていねいに教えてくれる | 32.9 | 31.0 | 32.4 | 35.1 | 37.0 | 37.1 | 34.6 | 30.9 | 21.7 |
| 学習の効率がよい | 27.5 | 25.0 | 29.1 | 28.1 | 42.5 | 38.8 | 26.8 | 18.9 | 13.6 |
| 実力がわかる | 26.2 | 24.7 | 25.9 | 27.9 | 32.9 | 33.5 | 27.9 | 19.4 | 17.6 |
| 成績が上がる | 24.8 | 25.2 | 25.3 | 23.8 | 43.2 | 33.8 | 23.9 | 16.0 | 13.6 |
| やる気がでる | 23.0 | 25.6 | 23.3 | 19.8 | 33.6 | 27.7 | 22.8 | 19.4 | 14.9 |
| 友だちができる | 19.4 | 24.1 | 20.4 | 13.7 | 21.2 | 22.1 | 21.9 | 16.9 | 14.5 |
| わかりやすい | 19.4 | 17.8 | 20.0 | 20.5 | 26.0 | 21.1 | 20.6 | 16.9 | 13.1 |
| 校則がない | 19.2 | 16.3 | 20.6 | 20.5 | 19.9 | 19.5 | 20.6 | 19.7 | 15.4 |
| 先生がうるさくない | 18.0 | 19.6 | 17.9 | 16.5 | 17.8 | 20.1 | 18.4 | 17.4 | 14.0 |
| 授業の進度が早い | 13.8 | 15.3 | 13.8 | 12.2 | 17.8 | 19.5 | 11.0 | 10.9 | 11.3 |
| 友だちと遊べる | 9.8 | 12.1 | 9.7 | 7.6 | 6.8 | 9.1 | 10.3 | 10.3 | 11.3 |

複数回答

べられなくなった」など、「ゆっくり」する時間のなさを訴えている。

確かに学校の授業の後、部活動に参加し、それから夕方から夜にかけて塾に行くのであ

ろうから、ゆったりとした気分になれないのが塾通いする生徒の毎日なのであろう。そうした傾向は属性を超えて認められるように思われる（表23）。

表22 通塾で失ったもの

| | そう思う | | そう思わない | |
|---------------|------|------|--------|------|
| | とても | かなり | あまり | ぜんぜん |
| ゆっくりテレビを見られない | 37.4 | 25.6 | 18.8 | 18.2 |
| ゆっくり夕食を食べられない | 22.6 | 28.1 | 24.0 | 25.3 |
| 部活動を十分にできない | 13.4 | 16.1 | 28.7 | 41.8 |
| 家族とゆっくり話せない | 13.1 | 15.6 | 34.9 | 36.4 |
| 友だちとゆっくり話せない | 10.3 | 12.6 | 34.4 | 42.7 |
| 自分で勉強する態度 | 6.7 | 13.6 | 45.9 | 33.8 |

表23 通塾で失ったもの × 属性

| | 学 年 | | | 成 績 | | | | |
|---------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| ゆっくりテレビを見られない | 32.6 | 42.8 | 35.7 | 39.8 | 35.3 | 38.9 | 35.5 | 42.5 |
| ゆっくり夕食を食べられない | 21.5 | 24.0 | 22.4 | 22.7 | 22.3 | 23.0 | 21.2 | 26.4 |
| 部活動を十分にできない | 14.3 | 14.3 | 11.8 | 16.1 | 13.0 | 13.0 | 11.1 | 17.6 |
| 家族とゆっくり話せない | 16.0 | 13.9 | 9.7 | 15.1 | 10.5 | 11.3 | 14.9 | 23.3 |
| 友だちとゆっくり話せない | 10.8 | 11.2 | 8.9 | 10.5 | 8.4 | 9.3 | 12.9 | 16.7 |
| 自分で勉強する態度 | 8.1 | 5.6 | 6.5 | 10.3 | 5.5 | 8.1 | 6.5 | 3.6 |

「とてもそう思う」割合

第3章 学習塾に行かない生徒たち



1. 塾に行かない理由

中学生のほぼ半数が塾通いをしている。残りが塾に行っていないわけだが、そうした生徒は何か考えるところがあって塾に行かないのであろうか。

すでに表8でふれたように、生徒たちのうち、20.2%は「塾に行ったが、やめた」と答えている。そうした生徒たちがあげている塾

をやめた理由は表24の通りで、「成績が上がらない」や「教え方が下手」「先生と合わない」などが上位を占める。

それぞれに理由があってやめているのがわかるが、特別に大きな理由は認められない。表中の項目が重なりあってやめたのであろう。

表24 塾をやめた理由

| | (%) | | | | |
|----------|----------------|-----|-----|-----|-----|
| | 塾をやめた 生徒の中で | 全 体 | 中 1 | 中 2 | 中 3 |
| 成績が上がらない | 35.6 | 7.2 | 5.0 | 7.5 | 9.1 |
| 教え方が下手 | 31.7 | 6.4 | 5.8 | 5.5 | 7.9 |
| 先生と合わない | 27.2 | 5.5 | 5.8 | 4.2 | 6.5 |
| 時間が合わない | 26.7 | 5.4 | 6.5 | 4.6 | 5.2 |
| 宿題が多い | 26.2 | 5.3 | 5.4 | 5.3 | 5.2 |
| 進度が早い | 20.3 | 4.1 | 3.6 | 3.8 | 5.0 |
| 部活動優先 | 20.3 | 4.1 | 2.8 | 4.4 | 5.0 |
| お金が高い | 19.3 | 3.9 | 4.1 | 3.5 | 4.1 |
| 場所が遠い | 18.8 | 3.8 | 4.9 | 3.1 | 3.5 |
| 友だちと合わない | 14.4 | 2.9 | 3.7 | 1.6 | 3.3 |
| 進度が遅い | 13.9 | 2.8 | 2.8 | 1.8 | 3.7 |
| 親に言われて | 12.4 | 2.5 | 1.7 | 2.9 | 2.8 |
| 塾に言われて | 5.0 | 1.0 | 0.9 | 0.9 | 1.3 |
| その他 | 38.1 | 7.7 | 9.0 | 6.9 | 7.4 |

複数回答

塾をやめた生徒とは別に25.9%の生徒は、始めから塾通いをしていない。そこで、現在塾に行っていない生徒たちにどうして塾通いをしないのかを尋ねると、表25のような回答が得られた。「なんとなく」に加え「自由な時間を持ちたかったから」、それに「自分の力で勉強をしたい」などが上位を占める。学習塾はどうしても時間を拘束されるので、マイ

ペースで勉強したい生徒は塾に行きたくないのかもしれない。

そして、表26によれば、これから先についても、ほぼ6割の生徒が塾に行く予定はないと答えている。成績の上位の生徒の中でも、81.0%が通塾をしないという。したがって、生徒たちの中に塾に行くタイプと行かないタイプとが存在するのであろう。

表25 通塾しない理由

(%)

| | 通塾しない生徒の中で | 全体 |
|----------------|------------|------|
| 自由な時間がなくなる | 51.8 | 24.9 |
| なんとなく | 44.5 | 21.4 |
| 自分で勉強できる | 30.4 | 14.6 |
| 勉強が苦手 | 27.4 | 13.2 |
| 趣味に時間をとりたい | 26.8 | 12.9 |
| 家庭教師や通信教育をしている | 25.4 | 12.2 |
| 部活動が多忙 | 24.3 | 11.7 |
| お金がもったいない | 20.8 | 10.0 |
| よい塾がない | 20.2 | 9.7 |
| 入学は大丈夫 | 11.6 | 5.6 |
| 親が反対 | 11.0 | 5.3 |

複数回答

表26 通塾の予定 × 属性

(%)

| | 全体 | 学年 | | | 成績 | | | | |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 予定なし | 59.0 | 49.1 | 57.8 | 71.5 | 81.0 | 56.2 | 54.5 | 60.6 | 55.7 |
| 行くつもり | 36.5 | 46.3 | 38.5 | 23.2 | 13.8 | 37.0 | 38.0 | 37.2 | 43.5 |
| 高校から | 4.5 | 4.6 | 3.7 | 5.3 | 5.2 | 6.8 | 7.5 | 2.2 | 0.8 |

2. 塾通いする子との差

いずれにせよ、生徒全体の塾通いの分布を示すと図4のような結果になる。しかし、塾に行かない生徒でも塾の効用は否定できないようで、「塾に行ったら学力がつくか」につ

いて、「とても」の18.6%に「かなり」の52.5%を含めて71.1%は学習塾に行ったら学力がつくと感じている(表27)。

図4 塾通いの分布

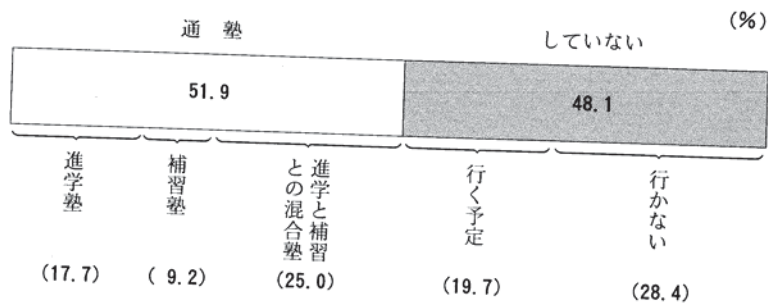


表27 塾に行ったら学力がつくか × 属性

| | | つく | | つかない | | (%) |
|----|-----|------|------|------|------|-----|
| | | とても | かなり | あまり | ぜんぜん | |
| 全体 | | 18.6 | 52.5 | 24.3 | 4.6 | |
| 学年 | 中1 | 17.6 | 54.3 | 23.9 | 4.2 | |
| | 中2 | 18.2 | 50.7 | 25.4 | 5.7 | |
| | 中3 | 20.3 | 52.0 | 23.6 | 4.1 | |
| 成績 | 上 | 24.2 | 45.2 | 25.8 | 4.8 | |
| | 中の上 | 17.2 | 50.3 | 27.0 | 5.5 | |
| | 中 | 20.8 | 55.6 | 20.8 | 2.8 | |
| | 中の下 | 13.3 | 59.0 | 24.6 | 3.1 | |
| | 下 | 21.3 | 45.6 | 25.0 | 8.1 | |

なお、塾に行かない生徒たちに塾に行く生徒のイメージを尋ねると、表28のように「学力がつきそう」と「疲れそう」との両面の評価が戻ってきた。属性分析の結果は表29に詳しいが、塾に行かない生徒からすると、自分たちは疲れずにマイペースで勉強をしていることになるのであろう。

それでは、塾通いしている生徒と、していない生徒との差はどこにあるのであろうか。

学業成績との関係は表8でふれた通りだが、もう一度、成績と塾通いとの関係を抜き出してみると以下ようになる。

| | 通塾率 | 今後も行かない割合 |
|-----|-------|-----------|
| 上位 | 59.0% | 33.2% |
| 中の上 | 60.9% | 22.0% |
| 中位 | 54.3% | 24.9% |
| 中の下 | 44.4% | 33.7% |
| 下位 | 36.9% | 35.1% |

表28 通塾している子のイメージ

| | そう感じる | | そう感じない | |
|-------------|-------|------|--------|------|
| | とても | かなり | あまり | ぜんぜん |
| 学力がつきそう | 39.3 | 38.1 | 16.4 | 6.2 |
| 疲れそう | 37.7 | 33.7 | 21.6 | 7.0 |
| 進学に真剣 | 33.4 | 39.8 | 21.7 | 5.1 |
| 親が教育熱心 | 28.4 | 33.1 | 31.2 | 7.3 |
| 遊ぶ時間がない | 26.3 | 28.5 | 29.9 | 15.3 |
| 1人で勉強するのが苦手 | 7.8 | 11.8 | 53.1 | 27.3 |

表29 通塾している子のイメージ × 属性

| | 学 年 | | | 成 績 | | | | |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 学力がつきそう | 34.7 | 43.3 | 40.4 | 26.7 | 31.5 | 40.9 | 42.7 | 48.4 |
| 疲れそう | 37.3 | 39.6 | 36.2 | 33.3 | 42.0 | 35.0 | 39.7 | 34.1 |
| 進学に真剣 | 32.7 | 35.6 | 31.9 | 26.7 | 23.2 | 36.5 | 33.9 | 43.1 |
| 親が教育熱心 | 33.2 | 26.6 | 24.7 | 23.0 | 30.0 | 26.4 | 26.2 | 35.8 |
| 遊ぶ時間がない | 25.1 | 30.0 | 23.7 | 24.8 | 28.0 | 27.4 | 29.0 | 21.0 |
| 1人で勉強するのが苦手 | 9.9 | 7.6 | 5.7 | 9.8 | 8.0 | 8.0 | 7.1 | 7.2 |

「とてもそう感じる」割合

したがって、それぞれの成績階層ごとに、塾に行く生徒と行かない生徒が存在するが、親との関係を確認したのが表30である。それほど大きな差があるわけではないが、通塾している生徒の親の方が、「勉強にお金を出す」や「勉強しろと言う」割合が高い。

いわば、塾通いしている生徒の親に教育熱

心なタイプが多いというデータである。そして、表31によれば、塾通いしている生徒の方が「国立難関大学への入学」や「一流企業への就職」へ望みを抱いている割合が多い。そうした意味からすると、塾通いする生徒は教育熱心な親に支えられた意欲的な子どもだといえなくもない。

表30 家の人の期待

| | 全 体 | 通 塾 | |
|-----------|------|------|------|
| | | な し | 通 塾 |
| 勉強にお金を出す | 42.5 | 34.8 | 52.9 |
| 勉強しろと言う | 36.3 | 27.4 | 37.4 |
| 期待している | 16.3 | 12.2 | 19.5 |
| 子の意見を尊重する | 15.7 | 10.9 | 12.6 |

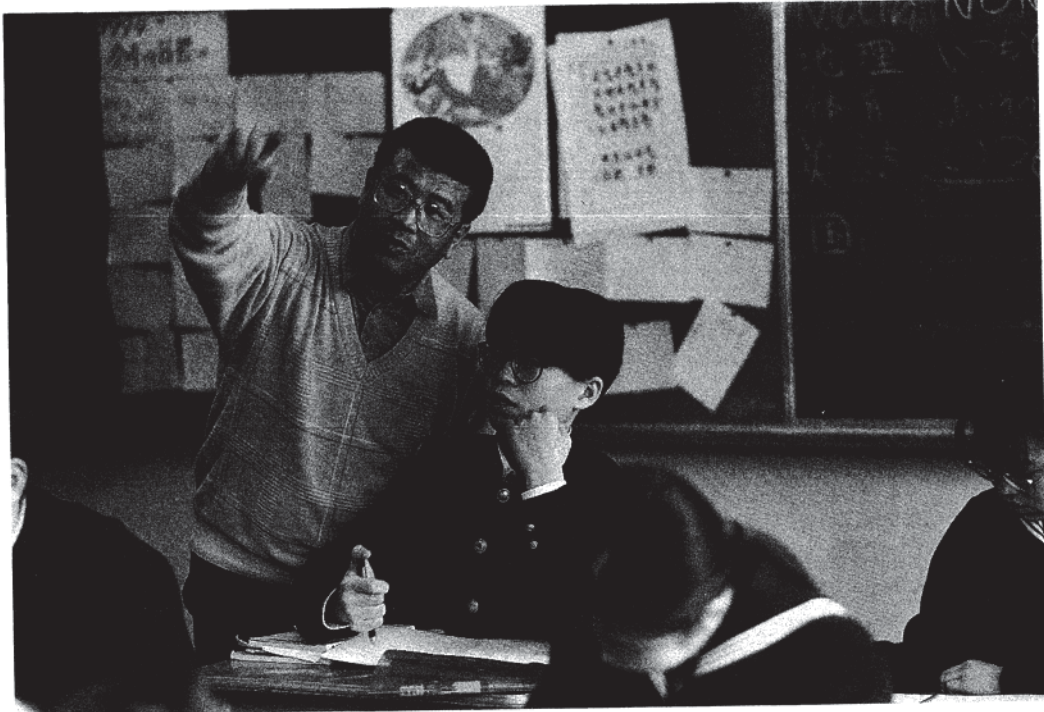
「とてもあてはまる」割合

表31 将来の見通し

| | 全 体 | 通 塾 | |
|-----------|------|------|------|
| | | な し | 通 塾 |
| 希望高校合格 | 33.3 | 29.4 | 34.6 |
| 国立難関大学入学 | 8.5 | 4.1 | 11.2 |
| 一流企業に就職 | 10.0 | 5.1 | 11.2 |
| 会社の部長に | 10.0 | 5.7 | 11.6 |
| 自分の家を買う | 18.3 | 12.7 | 19.6 |
| 幸せな家庭が築ける | 37.7 | 37.0 | 37.2 |

「ぜったいできるだろう」の割合

第4章 学習塾と学校との対比



1. 授業の比較

これまでふれたように中学生の半数以上が塾で勉強をしていた。それでは、学習塾の勉強と学校の勉強とに開きが認められるのであろうか。塾に行っていない生徒は塾の勉強が

わからないので、そうした生徒を外して、学校と学習塾の数学の授業の比較を試みたのが表32である。

表32 数学の授業

| | | (%) | | | | |
|-----------|----|----------|------|----------|------------|-------------|
| | | とてもあてはまる | 差 | かなりあてはまる | あまりあてはまらない | まったくあてはまらない |
| 教科書にそう | 学校 | 35.6 | 6.3 | 46.6 | 15.2 | 2.6 |
| | 塾 | 29.3 | | 27.6 | 23.0 | 20.1 |
| わかりやすい | 学校 | 19.8 | 16.3 | 43.5 | 27.3 | 9.4 |
| | 塾 | 36.1 | | 44.7 | 15.1 | 4.1 |
| 小テストをする | 学校 | 17.5 | 10.7 | 21.3 | 35.6 | 25.6 |
| | 塾 | 28.2 | | 18.2 | 29.3 | 24.3 |
| 学力がつきそう | 学校 | 10.3 | 21.1 | 37.8 | 40.0 | 11.9 |
| | 塾 | 31.4 | | 41.9 | 21.6 | 5.1 |
| いねむりが多い | 学校 | 9.2 | 5.7 | 18.5 | 36.5 | 35.8 |
| | 塾 | 3.5 | | 3.8 | 23.4 | 69.3 |
| 時間が早く過ぎる | 学校 | 9.1 | 15.7 | 24.7 | 46.5 | 19.7 |
| | 塾 | 24.8 | | 32.8 | 32.1 | 10.3 |
| 宿題がたくさんでる | 学校 | 9.1 | 17.1 | 20.9 | 53.5 | 16.5 |
| | 塾 | 26.2 | | 28.1 | 32.4 | 13.3 |
| 聞くのが楽しい | 学校 | 7.7 | 12.0 | 24.6 | 46.1 | 21.6 |
| | 塾 | 19.7 | | 32.0 | 38.4 | 9.9 |
| 予習が必要 | 学校 | 6.5 | 6.0 | 13.0 | 48.0 | 32.5 |
| | 塾 | 12.5 | | 15.6 | 40.9 | 31.0 |
| やる気がでる | 学校 | 4.7 | 11.8 | 22.7 | 50.8 | 21.8 |
| | 塾 | 16.5 | | 30.2 | 41.1 | 12.2 |

差=学校と塾との差

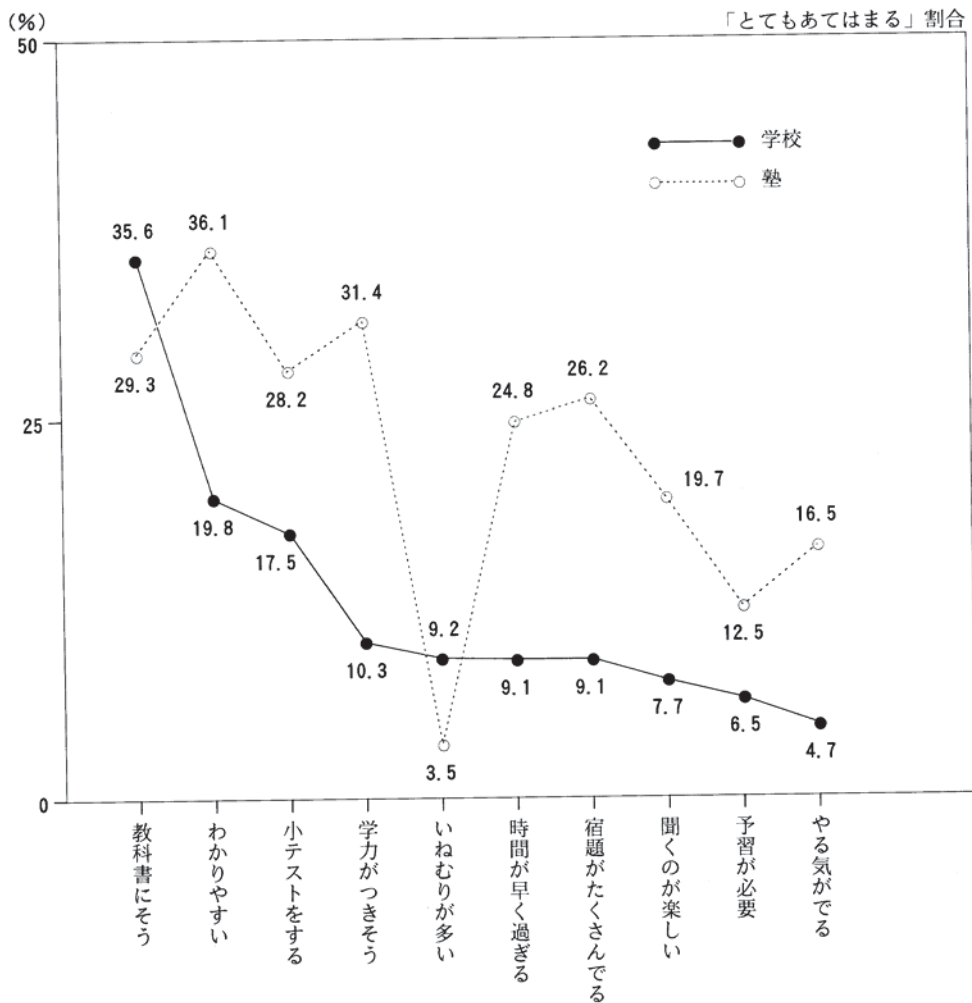
「とてもあてはまる」に着目して、学校と塾との違いを図化したのが図5である。

| 〈塾の方が高い項目〉 | 塾 | 学校 |
|-------------|-------|-------|
| わかりやすい | 36.1% | 19.8% |
| 学力がつきそう | 31.4% | 10.3% |
| 時間が早く過ぎる | 24.8% | 9.1% |
| 〈学校の方が高い項目〉 | | |
| 教科書にそう | 29.3% | 35.6% |

いねむりが多い 3.5% 9.2%

学校の授業は教科書にそったもので、いねむりをする生徒も（塾に比べて）多い。それに対し塾の授業はわかりやすく学力がつきそう、時間がたつのが早い。どう考えても、生徒たちは塾の授業に軍配を上げているように思われる。

図5 学校と塾との数学の授業



そこで、念のために、授業の評価を学年を追う形で確かめてみた。詳しくは表33を参照してほしいが、一例をあげると、図6のような結果になる。

「わかりやすい」や「学力がつきそう」についていえば、学校の授業に対する評価は学年が上がるにつれて低下していく。しかし、塾の授業の評価は水平くらいというより、や

表33 数学の授業 × 学年

| | | (%) | | | |
|-----------|----|------|------|------|------|
| | | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 差 |
| 教科書にそう | 学校 | 40.0 | 36.3 | 30.9 | 7.3 |
| | 塾 | 33.7 | 32.3 | 23.6 | |
| わかりやすい | 学校 | 35.3 | 11.3 | 12.8 | 24.2 |
| | 塾 | 34.3 | 36.2 | 37.0 | |
| 小テストをする | 学校 | 11.4 | 29.3 | 11.8 | 13.7 |
| | 塾 | 28.1 | 30.8 | 25.5 | |
| 学力がつきそう | 学校 | 17.6 | 7.2 | 6.0 | 25.2 |
| | 塾 | 30.9 | 31.7 | 31.2 | |
| いねむりが多い | 学校 | 4.0 | 12.1 | 11.3 | 6.9 |
| | 塾 | 3.5 | 2.7 | 4.4 | |
| 時間が早く過ぎる | 学校 | 15.3 | 6.0 | 6.2 | 16.7 |
| | 塾 | 26.6 | 25.8 | 22.9 | |
| 宿題がたくさんでる | 学校 | 3.6 | 15.0 | 8.3 | 21.8 |
| | 塾 | 22.0 | 25.4 | 30.1 | |
| 聞くのが楽しい | 学校 | 14.4 | 3.7 | 5.1 | 13.2 |
| | 塾 | 22.9 | 18.5 | 18.3 | |
| 予習が必要 | 学校 | 4.7 | 10.2 | 4.5 | 8.3 |
| | 塾 | 11.3 | 12.9 | 12.8 | |
| やる気ができる | 学校 | 8.2 | 3.5 | 2.4 | 14.1 |
| | 塾 | 18.7 | 14.5 | 16.5 | |

「とてもあてはまる」割合 差=中3の場合

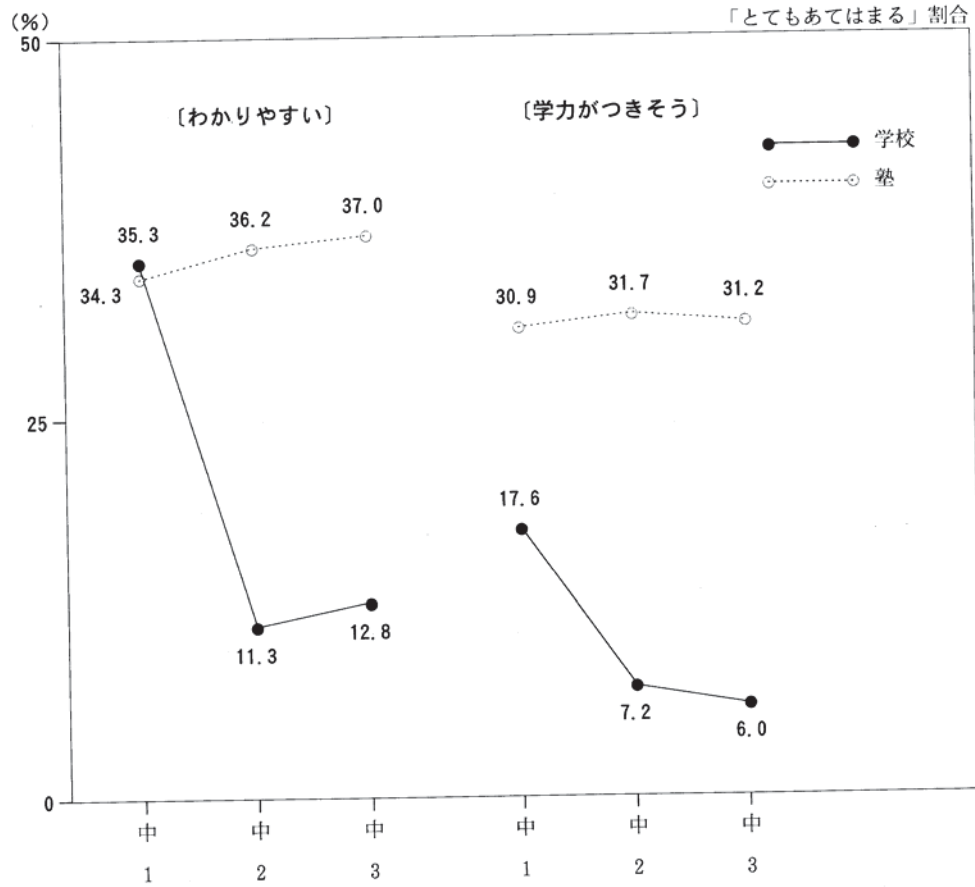
や上がり気味ですらある。

したがって、こうしたデータの示すように生徒たちが学習塾の授業が学校より「わかり

やすく力がつく」と思っているのは否定できないように思われてくる。

また、学業成績とのクロスは表34の通りだ

図6 数学の授業 × 学年



が、「わかりやすい」を例にすると図7のようになる。学習塾の授業も成績が下位になるにつれて「わりやすさ」が低下する。しかし

それでも、数値的にいえば、成績の上位の生徒が学校の授業でわかるよりも、塾で成績の下位の生徒が「わかる」方が上回っている。

表34 数学の授業 × 成績

| | | (%) | | | | |
|-----------|----|------|------|------|------|------|
| | | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 |
| 教科書にそう | 学校 | 34.2 | 37.6 | 37.3 | 32.1 | 32.9 |
| | 塾 | 26.7 | 25.1 | 31.0 | 31.4 | 28.6 |
| わかりやすい | 学校 | 25.3 | 21.9 | 21.1 | 17.0 | 14.2 |
| | 塾 | 52.0 | 44.0 | 32.3 | 25.9 | 27.3 |
| 小テストをする | 学校 | 17.8 | 18.9 | 17.6 | 14.4 | 20.4 |
| | 塾 | 36.0 | 39.1 | 20.6 | 21.4 | 20.8 |
| 学力がつきそう | 学校 | 15.2 | 9.1 | 12.0 | 7.2 | 9.6 |
| | 塾 | 62.9 | 40.4 | 24.9 | 17.1 | 22.1 |
| いねむりが多い | 学校 | 13.0 | 9.6 | 7.7 | 8.6 | 7.9 |
| | 塾 | 5.3 | 1.4 | 5.1 | 2.9 | 5.4 |
| 時間が早く過ぎる | 学校 | 9.7 | 9.5 | 9.5 | 7.7 | 10.6 |
| | 塾 | 32.0 | 29.0 | 19.8 | 21.4 | 22.1 |
| 宿題がたくさんでる | 学校 | 8.7 | 9.2 | 9.3 | 10.4 | 14.2 |
| | 塾 | 38.7 | 31.3 | 22.4 | 17.9 | 24.7 |
| 聞くのが楽しい | 学校 | 11.2 | 8.0 | 7.8 | 6.0 | 7.3 |
| | 塾 | 29.3 | 22.3 | 19.5 | 15.1 | 13.0 |
| 予習が必要 | 学校 | 4.8 | 2.0 | 4.7 | 8.3 | 16.6 |
| | 塾 | 17.6 | 15.0 | 10.2 | 8.6 | 17.3 |
| やる気がでる | 学校 | 7.5 | 2.5 | 5.3 | 4.9 | 4.6 |
| | 塾 | 31.1 | 20.1 | 13.2 | 8.6 | 7.2 |

「とてもあてはまる」割合

なお、通塾の有無と授業の評価との関連を表35に掲げた。学校の授業に対する評価に塾通いしている者と、していない者との間にそれほどの開きが認められなかった。したがって塾通いしている生徒たちだけが、学校の授業を低く感じているのではないことがわかる。

塾の授業の方が「わかりやすい」について学校サイドからの反論はあろう。塾は少人数で、学力別の編成をし、指導要領に関係なく

受験のテクニックだけを教えられる。それと比べ、学校はたくさんの学力の異なる生徒を1人の教師が基準に合わせて授業していくのだから小回りがきかないという主張だ。教育関係者の1人として、そう思う反面、生徒たちの下した学校と学習塾との評価の開きに戦慄を覚えた。生徒たちは学校の授業は活気に乏しく、学力がつきそうにないと思っている。

図7 数学の授業 × 成績

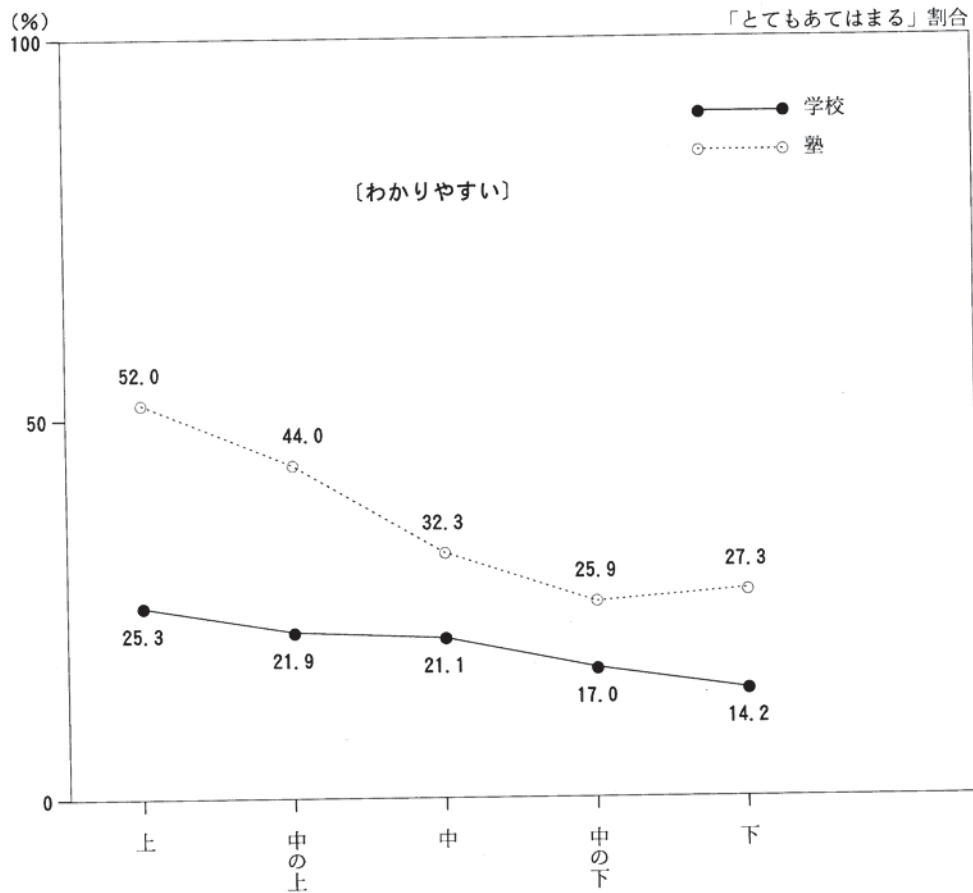


表35 数学の授業 × 通塾の有無

(%)

| | | していない | 通 塾 |
|-----------|----|-------|------|
| 教科書にそう | 学校 | 31.7 | 37.7 |
| | 塾 | — | 28.8 |
| わかりやすい | 学校 | 16.8 | 20.0 |
| | 塾 | — | 34.7 |
| 小テストをする | 学校 | 20.2 | 18.3 |
| | 塾 | — | 27.5 |
| 学力がつきそう | 学校 | 9.2 | 10.7 |
| | 塾 | — | 30.4 |
| いねむりが多い | 学校 | 5.5 | 9.9 |
| | 塾 | — | 3.3 |
| 時間が早く過ぎる | 学校 | 7.4 | 10.4 |
| | 塾 | — | 23.7 |
| 宿題がたくさんでる | 学校 | 7.4 | 9.8 |
| | 塾 | — | 25.4 |
| 聞くのが楽しい | 学校 | 8.2 | 6.8 |
| | 塾 | — | 19.7 |
| 予習が必要 | 学校 | 8.2 | 3.8 |
| | 塾 | — | 11.7 |
| やる気がでる | 学校 | 5.0 | 4.1 |
| | 塾 | — | 16.2 |

「とてもあてはまる」割合

2. 塾の先生と学校の先生

授業についての評価は前掲の通りだが、教師についての評価はどうか。表36に結果を示した。それを図化したのが図8である。

| 〈塾の先生の方が高い項目〉 | 塾 | 学校 |
|---------------|-------|-------|
| 幅の広い知識を持つ | 46.9% | 17.7% |
| 教え方がうまい | 46.2% | 24.2% |
| 尊敬できる | 31.1% | 15.4% |

人気がある 25.1% 8.2%
 〈学校の先生の方が高い項目〉

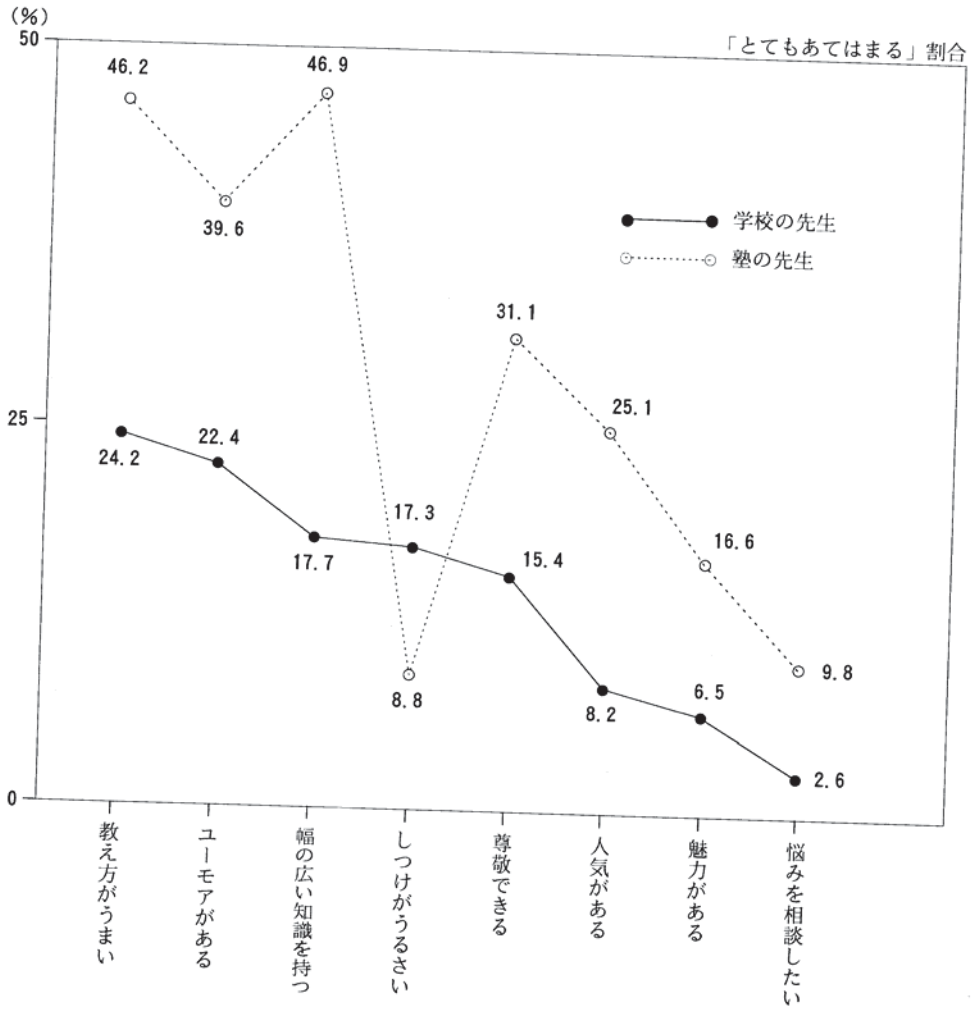
しつけがうるさい 8.8% 17.3%
 残念ながら、生徒たちは「幅の広い知識を持ち」「教え方がうまく」「ユーモアがあって」「尊敬できる」のは塾の先生で、学校の先生は「しつけがうるさい」だけだという。

表36 数学の先生

| | | (%) | | | | |
|-----------|----|----------|------|----------|------------|-------------|
| | | とてもあてはまる | 差 | かなりあてはまる | あまりあてはまらない | まったくあてはまらない |
| 教え方がうまい | 学校 | 24.2 | | 38.4 | 28.2 | 9.2 |
| | 塾 | 46.2 | 22.0 | 34.5 | 14.7 | 4.6 |
| ユーモアがある | 学校 | 22.4 | | 31.8 | 33.7 | 12.1 |
| | 塾 | 39.6 | 17.2 | 31.1 | 21.3 | 8.0 |
| 幅の広い知識を持つ | 学校 | 17.7 | | 44.9 | 30.1 | 7.3 |
| | 塾 | 46.9 | 29.2 | 32.0 | 16.1 | 5.0 |
| しつけがうるさい | 学校 | 17.3 | 8.5 | 22.5 | 42.9 | 17.3 |
| | 塾 | 8.8 | | 12.9 | 39.8 | 38.5 |
| 尊敬できる | 学校 | 15.4 | | 33.7 | 36.7 | 14.2 |
| | 塾 | 31.1 | 15.7 | 28.8 | 29.6 | 10.5 |
| 人気がある | 学校 | 8.2 | | 25.5 | 45.7 | 20.6 |
| | 塾 | 25.1 | 16.9 | 28.5 | 33.8 | 12.6 |
| 魅力がある | 学校 | 6.5 | | 22.0 | 44.1 | 27.4 |
| | 塾 | 16.6 | 10.1 | 25.7 | 37.9 | 19.8 |
| 悩みを相談したい | 学校 | 2.6 | | 8.3 | 40.6 | 48.5 |
| | 塾 | 9.8 | 7.2 | 12.9 | 37.6 | 39.7 |

差=学校と塾との差

図8 学校の先生・塾の先生



ここでも、念のために学年を追う形で教師評価の変化を尋ねてみた(表37)。そして、表37を図化したのが図9である。生徒たちの「教え方がうまい」「幅の広い知識を持つ」などについての塾の先生に対する評価は、並行あるいは学年が上がるにつれて、やや上昇す

る傾向が認められる。それに対し学校の先生に対する評価は、下降するにとどまっている。

また、学業成績ごとの評価も表38に示したが、「差」の欄が明らかにしているように、成績の下位の生徒も学校の先生より塾の先生の方が「幅の広い知識を持ち」「教え方がう

表37 数学の先生 × 学年

(%)

| | | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 差 |
|-----------|----|------|------|------|------|
| 教え方がうまい | 学校 | 44.9 | 12.5 | 15.3 | |
| | 塾 | 46.1 | 48.6 | 43.6 | 28.3 |
| ユーモアがある | 学校 | 25.6 | 16.1 | 25.5 | |
| | 塾 | 38.6 | 45.2 | 34.8 | 9.3 |
| 幅の広い知識を持つ | 学校 | 28.2 | 11.1 | 13.9 | |
| | 塾 | 42.0 | 46.5 | 51.2 | 37.3 |
| しつげがうるさい | 学校 | 10.6 | 22.4 | 19.0 | 13.1 |
| | 塾 | 10.4 | 10.8 | 5.9 | |
| 尊敬できる | 学校 | 28.8 | 9.5 | 8.2 | |
| | 塾 | 32.8 | 32.0 | 28.9 | 20.7 |
| 人気がある | 学校 | 11.0 | 6.8 | 7.0 | |
| | 塾 | 25.0 | 28.7 | 21.3 | 14.3 |
| 魅力がある | 学校 | 10.0 | 4.2 | 5.2 | |
| | 塾 | 16.5 | 17.9 | 14.8 | 9.6 |
| 悩みを相談したい | 学校 | 3.1 | 2.4 | 2.3 | |
| | 塾 | 10.4 | 10.0 | 9.2 | 6.9 |

「とてもあてはまる」割合 差=中3の場合

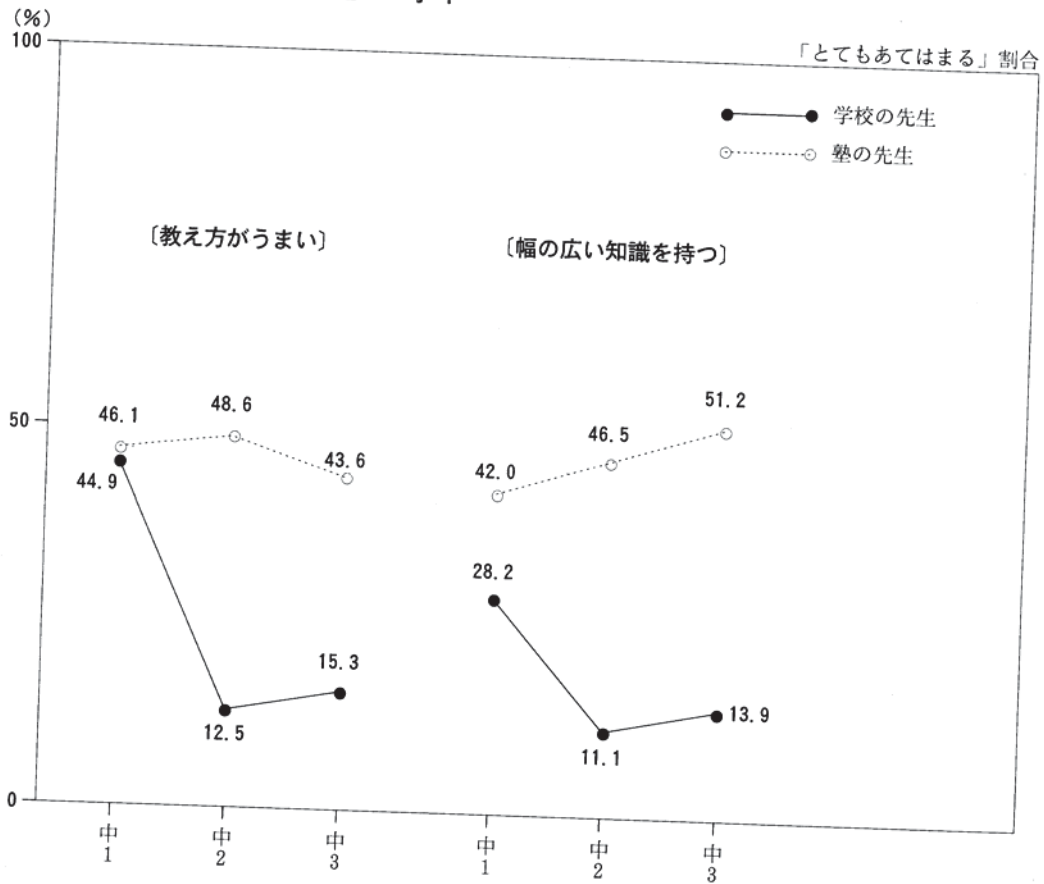
まく」「悩みを相談したい」と答えている。

調査の開始にあたって項目を作成したとき、塾の先生の方が「教え方はうまい」という評価がでるだろうと予想していた。しかし、「幅の広い知識がある」や「人間的に尊敬できる」のは学校の先生の方が数値が上と信じ

ていた。結果は、尊敬や悩みの相談も含めて、塾の先生の方が評価が高いのは繰り返し指摘した通りである。

この点についても、学校の教師からの反論はあろう。自分たちはたくさんの生徒に対する責任を社会的に負っているから、塾のよう

図9 学校の先生・塾の先生 × 学年



に、好きかってな振る舞いはできない。いい
たくないことでも生徒の将来を考えて注意す
ることもあるなどである。

しかし、それにしても学校の教師に対する
評価の低さをどう考えたらよいのであろうか。
公教育の教師という枠に多くの教師はこだわ

りすぎ、人間的な魅力をなくしているのでは
ないか。熱心に生徒指導をする学校の教師た
ちを知っているだけに、生徒からの評価の低
さに驚くと同時に、抜本的な対策をたてる必
要性を感じた。

表38 数学の先生 × 成績

(%)

| | | 上 | 中の上 | 中 | 中の下 | 下 | 差 |
|-----------|----|------|------|------|------|------|------|
| 教え方がうまい | 学校 | 25.0 | 23.4 | 26.6 | 22.1 | 24.3 | |
| | 塾 | 61.3 | 51.4 | 42.9 | 41.0 | 34.7 | 10.4 |
| ユーモアがある | 学校 | 22.1 | 24.6 | 25.1 | 19.9 | 19.3 | |
| | 塾 | 49.3 | 43.9 | 38.5 | 33.3 | 28.0 | 8.7 |
| 幅の広い知識を持つ | 学校 | 18.8 | 16.6 | 19.9 | 17.1 | 16.3 | |
| | 塾 | 64.0 | 51.0 | 42.9 | 43.9 | 33.8 | 17.5 |
| しつげがうるさい | 学校 | 15.8 | 17.2 | 14.3 | 16.8 | 24.4 | 15.2 |
| | 塾 | 13.3 | 9.4 | 10.1 | 4.3 | 9.2 | |
| 尊敬できる | 学校 | 17.6 | 14.4 | 15.4 | 15.7 | 15.7 | |
| | 塾 | 42.7 | 36.8 | 26.3 | 27.0 | 22.7 | 7.0 |
| 人気がある | 学校 | 11.2 | 8.9 | 7.4 | 7.1 | 7.9 | |
| | 塾 | 32.0 | 29.6 | 24.9 | 18.2 | 17.8 | 9.9 |
| 魅力がある | 学校 | 10.6 | 4.5 | 5.0 | 7.4 | 8.4 | |
| | 塾 | 23.3 | 18.1 | 15.2 | 13.0 | 16.0 | 7.6 |
| 悩みを相談したい | 学校 | 4.2 | 1.6 | 2.0 | 3.5 | 2.8 | |
| | 塾 | 10.7 | 9.8 | 10.6 | 5.0 | 13.3 | 10.5 |

「とてもあてはまる」割合 差=成績下位の生徒の中での差